

小樽ビール

- 物件名：小樽ビール
- 住所：港町5-4
- 電話：21-2323
- 所有者：株式会社サウンドクルー小樽
- 運営者：株式会社アレフ
- 主任と人員：ヨハネス・ブラウン（醸造・販売ディレクター）、60人
- 建物履歴
 - 大正13年 小樽倉庫No.1として創建
 - 平成11年 小樽ビール開館（小樽倉庫より賃貸）
 - 平成20年 建物を株式会社サウンドクルー小樽が所有
 - 小樽ビール開館（サウンドクルーより賃貸）

■外観

平成11年 屋根一部修理

■内観

- ①回廊／吹き抜けレストランの吹き抜けに回廊を設置
- ②床／土間に木材床整備
- ③仕込み窯／レストラン中央部にビールの仕込み窯を設置
- ④発酵タンク／第一次発酵タンクは蓋を開けて五感で管理する独自のスタイルを用い、第二次発酵タンク（ラガービール）も同時に見学可能。

■内容

創業者庄司昭夫25歳、岩手県盛岡でハンバーガーレストラン「ドナルドダッグ」を開業。後にハンバーガーレストランに移行。食材全てにおいて無農薬を徹底し、札幌に多店舗展開。同時に「びっくりドンキー」と改称。ドイツ研修において地ビール文化の多様性に驚き、ビールの醸造・販売・建築の第一人者ユハネス・ブラウンを招聘し、小樽の水と出会い当物件に決断。ビールの熟成と倉庫の熟成に接点を見出す。

■コンセプト

「豊かさとは選べること」「ビールとは人と人を繋げる道具」と庄司語録を追求し、店舗設計や営業展開にヨハネス・ブラウンの指揮で徹底管理。

■客層

小樽・札幌30%、関東圏35%



外観



アプローチ



中央に仕込み窯を配置した店内



柱と梁を生かした堅牢な空間



第二次発酵タンク

小樽ビール



ビールミュージアム



回廊が馴染む



ファンタジーな回廊席



ダクトのワイルドさも似合う



補強の苦勞がうかがえる



石壁を生かす



ヨハネス・ブラウン氏